

小林 秀彦

日本共産党

市長のTPP参加反対の考え

質 農業が基幹産業である能代市の市長として、TPP参加はやめるべきとの立場を明らかにし、内外にアピールすべきでないか。市長の考えは。

答 去る3月18日発表の「TPP協定交渉参加表明に対する全国市長会会長コメント」では、政府においては、国民の理解が得られるような十分な情報の開示と丁寧な説明を行うべきであるとしている。市もこの内容を支持するものであり、今後も全国市長会、秋田県市長会と連携の上対応したい。

脳ドックへの助成

質 当市でも脳梗塞や脳出血などの脳疾患の病気で突然倒れてしまうケースが後を絶たない。早期発見のための検査、受診が必要である。脳ドックへの助成についての考えは。

答 市では、脳疾患を引き起こす要因である高血圧や糖尿病等の生活習慣病予防対策のため、医師による講話、夜間健康教室、訪問指導や減塩指導を実施するなど食生活改善等に取り組んでいる。脳疾患を早期に発見する脳ドックは大切な検査と認識している。助成については、関係団体等の意見を伺いながら検討したい。

その他の質問事項

- 市の奨学金制度
- 市長の政治倫理についての考え
- 扇田、比八田の風力発電

穴山 和雄

よねしろ会

市内全域への光通信サービスの提供は

質 光通信は地域にかかわらず同一レベルのサービスを受けることができるのが基本である。同サービスの提供を希望する市民全てが利用できるようなものが行政の責任では。

答 国の「光の道」戦略大綱の中で、基盤整備は「競争環境の中で民間主導により行うことを原則とする」としている。市では光通信サービスを受けることができない地域の解消は必要と考えており、通信事業者及び関係機関に働きかけたい。基盤整備は基本的には民間主導と考えており、市費の投入は検討していない。

閉校校舎の解体に伴う廃木材の再利用は

質 閉校校舎の解体に当たり、状態のよい部材を公共建築物へ再利用できないか。また、再利用に適さない部材は、まきストーブの燃料として、地域の希望する方へ無償提供しては。

答 市では、これまで建築物の解体で発生した廃木材は廃棄物処理法及び建設リサイクル法の規定に基づき、発電に利用でき、コスト面で有利な能代バイオマス発電で処理している。今後は、公共建築物等への活用についても検討するほか、事前に地元の方々へ説明し、解体材の利用等の要望があった場合は検討したい。

その他の質問事項

- ハローワーク付近への新駅建設は

議員の出席状況

議席番号	議員名	6月定例会 (6月5日～6月20日)		協議会等 (4月18日～7月16日)	
		出席回数	欠席回数	出席回数	欠席回数
1	松谷福三	6	0	5	1
2	後藤 健	6	0	9	0
3	信太和子	6	0	7	1
5	針金勝彦	6	0	5	0
6	渡辺優子	6	0	14	0
7	菅原隆文	6	0	6	0
8	伊藤洋文	6	0	3	2
9	穴山和雄	6	0	1	0
10	菊地時子	6	0	8	1
11	小林秀彦	6	0	6	0
12	藤原良範	6	0	5	0
13	武田正廣	6	0	1	0
14	庄司紘八	6	0	8	0

議席番号	議員名	6月定例会 (6月5日～6月20日)		協議会等 (4月18日～7月16日)	
		出席回数	欠席回数	出席回数	欠席回数
15	田中翼郎	6	0	6	0
16	安岡明雄	6	0	12	0
17	島貞一郎	6	0	2	0
18	中田 満	6	0	0	1
19	高橋孝夫	6	0	1	0
20	竹内 宏	6	0	6	1
21	薩摩 博	6	0	10	0
22	山谷公一	6	0	7	0
23	藤田克美	6	0	2	0
24	渡辺芳勝	6	0	1	0
25	島山一男	6	0	0	0
26	柳谷 渉	6	0	6	1

※6月定例会における議員が出席すべき回数は、全議員が本会議5回、各常任委員会が1回でした。

※協議会等に出席すべき回数は議員によって異なります。

【4月18日～7月16日までに開催された対象となる協議会等は(会派代表者会議5回、議会運営委員会4回、庁舎整備特別委員会1回、文教民生委員会協議会1回、総務企画委員会行政視察1回、文教民生委員会行政視察1回、環境産業委員会行政視察1回、議会だより編集委員会3回)でした。】